頑張ってます! 同窓生紹介

# 「現代工芸美術家協会本会員の漆芸作家」

昭和33年卒業　山田節子さん

**山田さんは本校卒業後、大和工業㈱（現セイコーエプソン）へ就職。勤務の傍ら趣味の漆芸を始め、同社を退職してからも日展参与の小口正二先生に師事して漆芸の道を究め、県展・三軌会展・諏訪展・現代工芸美術展等々に数々の受賞をし、現代工芸美術家協会の推薦を受けて本会員となるなど工芸美術の分野で活躍をしている。**

昭和15年東京・上野で生まれた山田さんは、太平洋戦争の激化した昭和19年12月両親の故郷である諏訪市新小路の祖父母の家に疎開した。なお父は戦死、疎開後まもなく東京の家は空襲で焼失したとのこと。

城南小・上諏訪中を経て昭和30年本校商業科に入学。

在学中は珠算部に入って毎放課後練習に励み、県大会では個人総合優勝、全国珠算大会出場など忙しい日々を送った。絵を描くことは好きで選択の「美術」を学習したが、漆芸には縁がなかったという。

昭和33年本校卒業後、大和工業㈱（現セイコーエプソン）に入社して経理係として勤め、平成12年に定年退職した。

山田さんの漆芸との出会いは在職中、会社の成人学校で日展参与の小口正二先生の指導を受けたことに始まり、それ以降も現在まで小口先生の家へ通って技術を身につけた。なお、写生を続け、美術書の閲覧、全国各地の各種展覧会の観賞など基礎の習得も怠りなく行っているとのこと。現在、昭和36年に新築した家の二階を作業場として作品の制作に励んでいる。

昭和49年には長野県展入選。昭和56年以降30年間日本現代工芸美術展入選。そのほか諏訪美術展・県展・三軌会展・現代工芸県展等々に出品し、数多くの賞を得ている。特に日本現代工芸美術会本会員、信州美術会（県展の母体）でも会員として活躍しており、平成22年には安曇野の高橋節郎美術館で個展も開いている。

山田さんは「漆芸は美しく、素晴しいが、材料の調達が大変で、手間も掛かるので後継者の育成どころではなく、自分の制作に精一杯です」と言う。

ちなみに、一つの作品を創るための材料となる木地（台）の塗装に数万円、金粉・銀粉や螺鈿その他塗料に数万円も掛かり、また、作品完成まで何ヶ月も掛かることもあるということで、見飽きない素晴らしいものです。

頑張ってます! 同窓生紹介

# 「カーリングのオリンピック委員」

昭和41年卒業　小泉進さん

**小泉さんは本校卒業後、珈琲店を経営しながら、日本のカーリング協会創立に深く関わり、オリンピック選手の強化等にも努めており、また岡谷・茅野・諏訪・下諏訪のカーリング協会も創立させるなどカーリング競技の指導者として地元諏訪のカーリングの普及にも力を注いでいる。**

小泉さんは昭和22年岡谷市小井川で生まれ育ち、昭和39年本校商業科に入学。

在学中は、応援団に入り、放課後応援歌の練習や指導をした。また、スケート部に入部して練習に励んだ。授業では、先生を説得して高島城跡でお花見をしたこと、物理の時間、増澤先生に難解な授業を受けたことなど懐かしく思い出されるとのこと。

昭和41年本校卒業後、しばらくは家業の酒店を手伝ったが、昭和48年群馬県桐生市に移住して珈琲店を開業し、昭和53年には帰郷して「バブン珈琲店」（珈琲豆の輸入・卸売りを兼ねる）を開業、現在に至っている。なおその後本店を茅野市に移し、諏訪地区に三店舗を構え経営に携わっている。

小泉さんがカーリングを始めたのは、小学生のとき映画館で見たカーリングの映像に興味を持っていたところ、昭和54年「蓼科湖カーリング参加者募集」の新聞記事を見て、これに参加したのがきっかけとのこと。

その後、蓼科カーリング・トーナメントに選手として参加。カーリングの楽しさを広めようと平成元年～2年岡谷・茅野・諏訪・下諏訪の各市町でカーリング協会を創立。

平成2年小泉さんはカーリングの研究のため、カナダ・カーリング協会認定のアイス・メイキング・スクールに入校してライセンスを取得して帰国。

平成3年には日本カーリング協会や長野県カーリング協会の創立にも携わり、平成16年には日本カーリング協会強化副委員長・次いで日本オリンピック委員会委員に就任した。

また、平成18年には日本カーリング協会アイス・メイク研究会を発足させ同代表に就任。平成19年以降現在まで日本オリンピック委員会ユニバーシヤード委員を務めている。

小泉さんは、現在日本ナショナル・チームの強化とアイス・メイクの強化に努めており、今後は地元諏訪地方からオリンピックに出場し、世界で活躍できる選手の育成に滞在中、カナダ・カーリング協会認定のアイス・メイキング・スクールに入校してライセンスを取得して帰国。

平成3年には日本カーリング協会や長野県カーリング協会の創立にも携わり、平成16年には日本カーリング協会強化副委員長・次いで日本オリンピック委員会委員に就任した。

また、平成18年には日本カーリング協会アイス・メイク研究会を発足させ同代表に就任。平成19年以降現在まで日本オリンピック委員会ユニバーシヤード委員を務めている。

小泉さんは、現在日本ナショナル・チームの強化とアイス・メイクの強化に努めており、今後は地元諏訪地方からオリンピックに出場し、世界で活躍できる選手の育成に努めたいという。

# 定時制だより

定時制教頭　宮澤　直哉

## 生徒生活体験発表会

定時制には、毎年恒例の行事として「生活体験発表会」があります。この大会は「定時制・通信制生徒生活体験発表大会」として南信地区大会・県大会・全国大会にもつながる四十数年の歴史を誇る重要な行事でもあります。

今年度の校内「生徒生活発表会」は9月4日に行われました。

定時制在籍生徒48名中10名が壇上に登り「働きながら学ぶ中で得た教訓」や「友情の大切さや両親への感謝」など、自身の体験や将来の希望と夢を語ってくれました。

聴衆の生徒たちも、学友から多くのことを学ぶ機会となり、私たち教職員も彼らの発する言葉一つひとつから感動をいただきました。

校内で最優秀となった三年生の田中舞輝君は「自分を変える」と題して現在の定時制での学びの中での自己変革と今後の希望を語り、9月20日飯田市で行われた南信大会に出場、最優秀賞を受賞して地区代表となり、10月11日松本市で行われた県大会でも優秀賞に入賞しました。

以上、本校定時制教育の一端を成果とともに報告させて頂きました。今後とも定時制へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 昨年度卒業生の資格取得状況

全国商業高等学校協会では、珠算・電卓・簿記・ビジネス文書・プログラミング・ビジネス情報・商業経済・会計実務・英語の九科目の検定がそれぞれ年一～二回実施されております。

また、全国高等学校家庭科教育振興会では、和裁・洋裁・食物の三種目の検定がそれぞれ年二回実施されております。

昨年度は、商業科・会計情報科卒業生のうち一名が六種目で一級を、十六名が三種目以上の一級を取得しました。

また、服飾科卒業生のうち三名が三種目で一級を、十二名が二種目で一級を取得し、それぞれに表彰状が授与されました。

なお、商業科生徒一名が、ITパスポート試験という高度な試験に合格しました。

# 事務局だより

◇本校では、生徒と地域の方々がともに学ぶ「資格取得講座」の実施、地元企業や諸団体と連携して「生徒に体験を通して複合的に学ばせる」機会の提供、「学校生活の情報発信」等々の新たな取り組みを始めました。

◇創立一〇〇周年まであと五年、さらに母校の教育活動が盛り上がるよう期待しております。なお、母校ホームページ「教務通信」を覗いてみてください。

◇同窓会報の購読は、終身会費五千円で毎年郵送されます。手続き等については、事務局までお問い合わせ下さい。

◇「同窓生紹介」のコーナーに掲載する同窓生を募集しております。事務局までご紹介下さい。

◇本年度から、小平紀文（同窓生・教諭）が同窓会事務局を担当しております。同窓会のこと、母校のことなどお気軽にお問い合わせ下さい。

# 編集後記

県内では、春先の豪雪による交通渋滞、夏に発生した土石流災害、秋には御嶽山の噴火等、自然災害の脅威を改めて感じました。そんな中で後輩は、校外でも多方面で活躍しています。次世代の地域経済や流通業界の人材育成を目ざし、県内商業高校生が参加する「第2回デパートゆにっと」マーケティング塾で、大人のスイーツ「地酒カステラ」等開発した諏実生。事務局小平先生よりお話を伺い、かつ試食させて頂きました。美味でした。

会報発行にあたり、関係各位におかれましては、ご多忙中にもかかわらず原稿をお寄せ頂きました。お陰様で第46号を発行できます事、深謝致します。